

# 16 京都国際マンガミュージアムを核とした「マンガクラスター（仮称）」の形成に対する支援

（内閣官房・文化庁・経済産業省）

京都市では、平成18年11月に、京都精華大学との共同事業により、マンガ資料の収集・保存、人材育成等の諸機能を有する国内初のマンガ文化の総合拠点として「京都国際マンガミュージアム」を開設いたしました。現在では、入館者数も年間30万人を超え、うち外国人が1割強を占めるなど、我が国の「マンガ」文化の世界発信に大きく貢献しています。

今後、多才な人材を輩出する芸術系大学が多数立地する京都の強みを生かし、大学や企業、行政間との連携のもと、京都国際マンガミュージアムを核とする「マンガクラスター（仮称）」を形成し、世界中の多様なクリエイターや企業等が交流し、刺激し合う「交流の場」、「学びの場」の提供やクリエイター等の人材育成、海外発信事業を一層充実し、展開していきます。

国におかれましては、新成長戦略に日本のマンガ・アニメ等「クール・ジャパン」の海外への発信・展開を図るとともに、それらに対応する人材育成の強化等を掲げられ、クール・ジャパン戦略を推進されています。

推進に当たっては、既に大きな成果を挙げ、海外からの評価も受けている「京都国際マンガミュージアム」を戦略推進のパートナーとして、また受け皿として位置付けられることが、効率的かつ効果的と考えます。

つきましては、次のとおり提案・要望します。

## 提案事項

- 1 マンガクラスター（仮称）の形成をはじめ、クール・ジャパン戦略に貢献する先進的な取組に対する支援制度の創設
- 2 「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」の推進に当たり、京都国際マンガミュージアムの主要施設への位置付け

## 要望事項

国として貴重な財産の一つであるマンガ資料の収蔵、保存、データベース管理等への支援

所管の省庁課：内閣官房（知的財産戦略推進事務局） 文化庁（文化庁芸術文化課）

経済産業省（製造産業局クール・ジャパン室、商務情報政策局文化情報関連産業課）

京都市の担当課：産業観光局 産業振興室 担当課長 草木大 TEL 075-222-3449

# 京都国際マンガミュージアムを核とした「マンガクラスター（仮称）」の形成

## 京都市の現状(特徴)

- マンガ・アニメ、ゲームから文化・芸術、伝統産業に至る豊富な地域資源（都市ブランド）による世界発信が可能
  - ・マンガ，アニメ：京都国際マンガミュージアムの存在
  - ・ゲーム：世界的な市場を持つ企業の存在
  - ・映画：撮影所（東映・松竹），東映太秦映画村
  - ・文化等：歴史，観光都市（重要文化財等），文化都市（茶道等）ものづくり都市（伝統産業等）

- コンテンツ系大学等の人材育成機関の集積  
37の大学・短期大学があり，集積度は全国トップクラス  
→コンテンツ分野の学部・学科等を有する大学  
(8大学1専門学校)

京都の強みがあるもの・・・

## 課題

- クリエイター等人材の不足(人材の確保・育成が困難)
  - ・人材を育成しても，職を求め，市外へ流出
  - ・国外へ仕事委託されることも多いため，クリエイター等の養成が困難

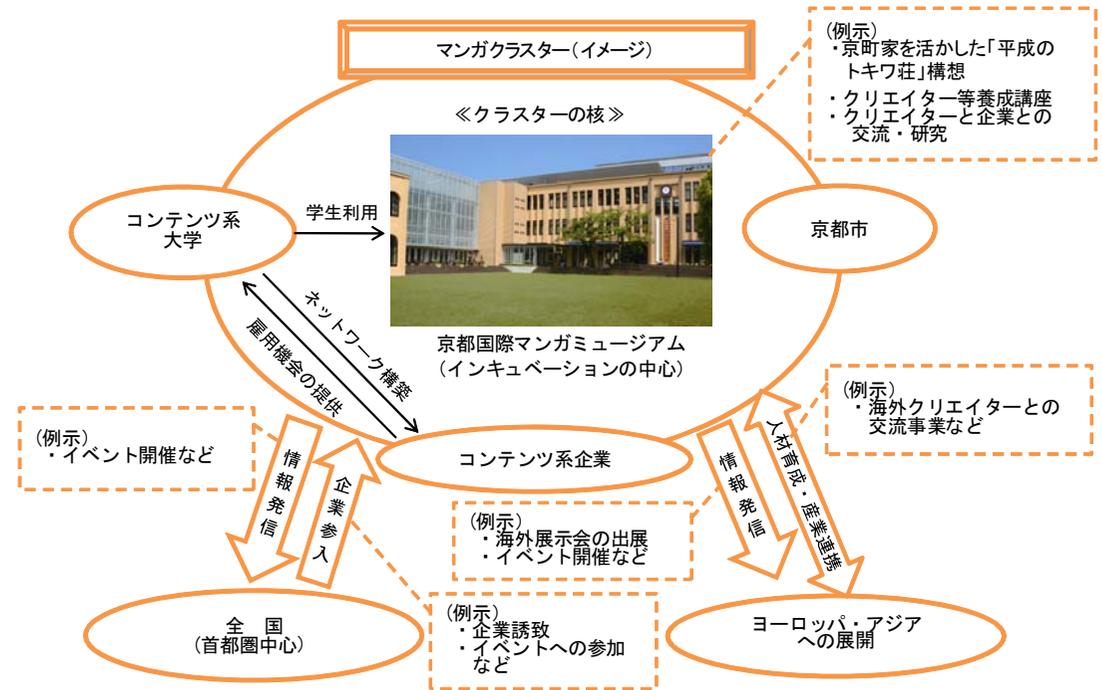
- 市場の拡大(企業の取引・販売力の向上が困難)
  - ・市場が東京一極集中であるため，受注先や市場から遠い。
  - ・海外の市場動向を見据えた多角的な視点の欠如

- 大学・企業・行政間での一体となった連携，産業分野・観光分野・商業分野間との融合が十分でない。  
→コンテンツがもたらす波及効果を十分，活かしきれていない。

- <参考：京都市コンテンツ関連企業実態調査(平成21年1月時点)>
- ◆経営課題：「人材の確保・育成」56.5% 「取引・販売力」42.0%
  - ◆京都で事業を行う長所：都市ブランド50.7%
  - ◆京都で事業を行う短所：受注先やマーケットから遠い 29.0%  
受注先がない26.1%

## 目指すべき方向性

- マンガ・アニメ、ゲーム、映画などのコンテンツの分野ごとのクラスター(※1)を形成し，相互に協力しあうクロスメディアの展開を図る。まずは，国際マンガミュージアムを核とした「マンガクラスター（仮称）」を大学・企業・行政間との連携のもと形成し，以下の項目を推進
- ※1 関連機関（大学，企業など）が地理的に集中し，競争しつつ同時に協力している状態のこと
  - インキュベーション機能(※2)をもった拠点「交流の場」「学びの場」の提供
  - ※2 若手クリエイター，プロデューサーが軌道に乗るよう支援を行う機能のこと
  - 京都におけるコンテンツビジネスの活性化(海外市場への展開など)



## 事業効果

- 人材育成面：環境(人材交流，研究)の向上と雇用機会の確保
- コンテンツビジネス面：海外市場への展開による新たな市場の拡大  
地元産業の活性化と観光の振興